



Wileyとの契約機関に所属する論文著者が 利用できるオープンアクセス契約

Wileyのジャーナルで論文をオープンアクセス(OA)出版しましょう

WileyとのOA契約に参加する機関に所属する論文著者が、コレスポンディング・オーサーとしてWileyのハイブリッド誌(収録論文の閲覧のために購読契約をするジャーナルのうち、著者が論文出版料金(APC)を支払って自分の論文をOA化するオプションを提供するもの)またはWileyのフルゴールドOA誌で論文を出版する場合*、OA申請を行って所属機関から承認を受けることで、OA出版のために必要なAPCの自己負担が免除(または軽減*)されます。 (* Wileyと各機関との契約内容および各機関の規定によります)

論文をOA出版するメリットについては、
こちらをご覧ください。

- The benefits of publishing open access

論文をOA出版することにより

- 研究助成団体や所属機関が定めるOAポリシーに準拠できます
- 著者が著作権を保持し、CCライセンスにより公開できます

OA契約の利用資格

- 論文がアクセプトされた時点で、その論文の Responsible corresponding author（すべての共著者を代表して出版手続きを行う責任著者）が、WileyとOA契約を結んだ機関のひとつに所属している必要があります。¹
- 対象となる論文の種類は、原著論文またはレビュー（総説）です。²
- フルゴールドOA誌の場合は論文の投稿時に、またはハイブリッド誌の場合はアクセプト後に、下の「OA出版のための手続き」を参照して、必要な申請手続きを行ってください。
- 2023年1月1日、2025年1月1日または2026年1月1日（所属機関による）以降に、ハイブリッド誌またはフルゴールドOA誌にアクセプトされた論文が対象です。³

OA出版のための手続きガイド

- How to publish in a Wiley hybrid open access journal (Japanese)
- How to publish in a Wiley fully open access journal (Japanese)

問い合わせ

ご不明の点は、所属機関の図書館までお問い合わせ下さい。

¹ 論文がアクセプトされた時点で契約機関に所属していない場合は、OA契約を利用できません。

² これらに含まれないLetter to the Editor, Editorialなどは対象外となります。

³ 所属機関によっては、ハイブリッド誌の論文のみが対象になります。